

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2020年2月1日

新年賀詞交歓会を開催

一般社団法人電池工業会は、2020年1月10日(金)、東京プリンスホテルにて「2020年新年賀詞交歓会」を開催した。また、これに先立ち同ホテル内の別会場で「2019年度優良従業員表彰」を実施した。



一般社団法人電池工業会 千歳喜弘会長挨拶

皆様、あけましておめでとうございます。令和2年を迎え、電池工業会関係各位の皆様、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、グローバル経済は、米中貿易摩擦の長期化による世界的な貿易の減速や企業の設備投資の鈍化など、減速傾向となりましたが、年末にはNY株価が上昇基調となり、景気の持ち直しが期待されています。しかしながら、緊迫化する中東情勢

など新たな問題も起こっており、市況・経済情勢をしっかりと見ていく必要があります。また、国内では、全国で多くの自然災害も発生し、経済的打撃を受けました。

そうした状況の中、昨年日本ではグローバルに存在感を示すイベントが多数開催されました。

6月に大阪で開催されたG20サミット、9月から開催されたアジア初のラグビーワールドカップ、そして何と言っても10月に発表された旭化成株式会社名誉フェロー・吉野彰先生の「リチウムイオン電池の開発」で

のノーベル化学賞受賞です。同じく電池に携わる者として、大変誇りに思い、今後の電池業界のさらなる発展への期待が膨らみました。

今回の吉野先生のノーベル賞受賞により、日本の電池業界は、新たな成長ステージを迎えたと考えています。電池の技術開発は、さらに活発化し、次世代リチウムイオン電池（LIB）開発など、さらなる進化が加速していきます。

LIBは、自動車で100年続いた内燃機関の歴史に大変革をもたらしましたが、一方で、車載用LIB市場の爆発的拡大に伴い、リユース、リサイクルという新たな課題に直面することになります。我々はこれを電池業界全体の課題として捉え、解決に向け前進していかなければなりません。

今後、電池はエネルギー政策推進における重要要素として、「環境」との接点がさらに深まり、環境視点が欠かせなくなります。

電池における「環境」への対応は、従来の経済合理性の追求や利便性の追求より、重要な位置づけとなり、電池はこれからの環境問題の解決を牽引する存在となっていくと思われま

す。そうした中、我々電池工業会は、地球レベルでのエネルギー政策、環境問題解決において重要なポジションを担うことになるでしょう。

そのような背景のもと、さまざまな場面で私の考えを述べてきておりますが、電池の技術、特にLIBの技術は、まさに「擦り合わせ」の技術です。日本の電池事業は、日本独自の強み、文化である「融合力」を武器に、今後も成長し続け、世界の電池業界をリードしていく存在であり続けなければならないと考えます。

そのために、我々電池業界は、大学や研究機関との連携、また経済産業省など関係省庁からのご支援、自動車業界など関連団体との協業、さらには各企業様との連携をますます強化していく必要があります。

まさに色や形の違う歯車が噛み合い、力が増幅されるように、「融合力」を最大化し、日本の強みとして発揮し続ける力に育てたいと考えます。

2020年は子年。子年は繁栄の年、そして十二支のスタートの年でもあります。子年にあやかり、電池業界も2020年を新たなスタートと位置づけたいと考えます。

また、いよいよ7月にはオリンピック、8月にはパラリンピックが開催されます。さらに2025年には大阪・関西万博が控えています。これからますますグローバルに日本をPRする機会が広がっていきます。この絶好の機会を捉え、日本の存在感を一層高めてまいり

たいと思います。

そして、2020年代にはさまざまな技術革新により、次世代社会の創生が加速するものと思います。AI革新、IoTの爆発的普及、5Gなどの通信ネットワーク革新、自動運転の実用化など、技術革新のスピードは加速し続けます。我々電池業界もこのような大きな波をしっかりと捉え、2020年代、新たな次元での繁栄を実現してまいりたいと思います。

引き続き、電池工業会へのご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

最後になりますが、各社様のご発展、皆様のみますますのご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 課長 菊川人吾様

引き続き、経済産業省商務情報政策局情報産業課課長 菊川人吾様より「皆様のイノベーションをどう進めるのか、投資、開発をどうするのか。電池が注目されており、まさに黒子から表になる。」とのご来賓の挨拶をいただいた。



乾杯の音頭は村尾副会長が務め、会は活況を呈した。賀詞交歓会は、正・賛助会員各社、関連省庁や団体などの関係者約300名の出席を得て、終始活発な雰囲気で行われ、生駒副会長による中締めで盛会裏に終了した。



会場の様子

優良従業員表彰

新年賀詞交歓会に先立ち、2019年度優良従業員の表彰式が行われ、千歳会長より各受賞者に賞状と記念品

が授与されました。

今回受賞の榮譽に輝いたのは、次の13社18名の方々です。

受賞者（順不同、敬称略）

門脇 宗広	(エナックス株式会社)	花岡 誠	(東芝ライフスタイル株式会社)
村奥 孝治	(FDK 株式会社)	柳澤 幸男	(パナソニック株式会社)
佐藤 俊毅	(FDK 株式会社)	木村 義人	(パナソニック株式会社)
福永 孝夫	(エリーパワー株式会社)	田中 勝美	(日立化成株式会社)
斎藤 進	(株式会社エンビジョン AESC エナジーデバイス)	渥美 茂人	(古河電池株式会社)
田中 浩二	(株式会社ジーエスユアサ・テクノロジー)	菅野 昌紀	(マクセル株式会社)
花垣 茂樹	(株式会社GSユアサ)	横田 雅博	(マクセル株式会社)
高木 宣雄	(セイコーインスツル株式会社)	世界 孝二	(株式会社村田製作所)
晝間 光生	(株式会社東芝)	堀越 吉一	(株式会社東北村田製作所)





2020年1月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	10日(金)	優良従業員表彰	正会員会社15社18名を表彰。
	10日(金)	新年賀詞交歓会	新年のごあいさつ実施。
	15日(水)	蓄電池設備整備資格者講習実施委員会	蓄電池設備整備資格者講習高知県会場の可否判定。
	17日(金)	広報総合委員会	事業計画、他。
二次電池部会	14日(火)	資材委員会	共用金型管理。
	16日(木)	環境委員会	海外環境情報の確認と情報共有、欧州ELV対応検討。
	16日(木)	産業電池技術サービス分科会	講習テキストの見直し、他。
	20日(月)	用語分科会	SBA S 0405 改訂審議。
	24日(金)	PL・自技サ合同委員会	安全啓発施策,TS-012改正審議 他。
	27日(月)	産業用電池リサイクル委員会	BAJ HP 改訂審議、他。
二次電池第2部会	14日(火)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格、JIS規格検討。
	15日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	15日(水)	リチウム二次分科会	「リチウムイオン蓄電池搭載電気製品の安全基準検討に係る調査」BAJ対応審議、JIS C 8712-2様式調整審議、他。
	16日(木)	据置LIB分科会	IEC等規格対応。
	17日(金)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定。
	17日(金)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	20日(月)	駆動用車載LIB委員会・LIBリユース規格分科会合同会議	車載LIBのリユースに関する検討。リユースガイドライン規格の検討。
	23日(木)	環境規格分科会	ポータブル用二次電池の環境に関するIEC規格 審議対応。
	27日(月)	国際電池規格委員会	IEC、ANSI、UL、インド規格に関する審議対応。
	29日(水)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	29日(水)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。識別表示ガイドライン改定検討。
31日(金)	PL委員会	安全啓蒙施策、事故情報集計。	
一次電池部会	7日(火)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討、JIS C 8513改正審議。
	8日(水)	リチウム総委員会	IEC対応及びリチウム電池輸送規則対応。
	9日(木)	リチウムコイン二次電池国際規格WG	ISO/TC114 WG1 ウォッチ用コイン二次電池 寸法公差規格化要請対応、他。

11月度電池販売実績(経済産業省機械統計)

(2019年11月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

(2011年~2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む)

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

(2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません)

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月~当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	375,222	75,897	87%	96%	4,042,301	817,836	93%	95%
一次電池計	252,248	9,429	86%	89%	2,597,080	89,401	99%	99%
酸化銀電池	67,742	1,088	96%	107%	707,379	10,228	100%	98%
アルカリ乾電池計	120,461	5,396	94%	86%	1,083,959	47,089	107%	105%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	21,759	1,618	90%	88%	185,359	12,864	117%	102%
リチウム電池	64,045	2,945	68%	90%	805,742	32,084	88%	91%
二次電池計	122,974	66,468	89%	97%	1,445,221	728,435	83%	94%
鉛電池計	2,870	17,652	94%	92%	28,403	174,634	98%	99%
自動車用	2,295	12,230	95%	93%	21,818	112,730	98%	98%
その他の鉛蓄電池	575	5,422	91%	89%	6,585	61,904	97%	101%
アルカリ蓄電池計	43,940	15,790	110%	104%	494,528	181,050	104%	108%
ニッケル水素	40,198	15,106	112%	104%	457,137	173,601	105%	108%
その他のアルカリ蓄電池	3,742	684	94%	98%	37,391	7,449	94%	96%
リチウムイオン蓄電池計	76,164	33,026	80%	96%	922,290	372,751	75%	87%
車載用	49,548	24,048	83%	98%	546,447	257,506	70%	86%
その他	26,616	8,978	77%	92%	375,843	115,245	83%	90%

11月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2019年11月)

単位:数量一千個、金額一百万円(小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります)

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計 (輸 出)	174,233	42,424	86%	88%	2,111,728	493,776	89%	91%
一次電池計	87,899	2,392	84%	93%	1,104,424	27,819	106%	99%
マンガン	30	3	—	—	663	74	—	—
アルカリ	7,968	138	158%	151%	67,959	1,246	170%	150%
酸化銀	39,732	549	81%	80%	510,442	6,621	109%	105%
リチウム	40,073	1,528	79%	92%	524,255	17,025	98%	90%
空気亜鉛	96	1	—	—	1,100	16	139%	188%
その他の一次	0	173	2%	137%	5	2,837	2%	140%
二次電池計	86,334	40,033	89%	88%	1,007,304	465,957	76%	90%
鉛蓄電池	187	1,282	121%	110%	1,873	13,671	95%	88%
ニカド	1,272	183	82%	101%	11,340	1,617	74%	93%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	2	2%	70%
ニッケル水素	11,334	11,209	126%	136%	131,486	105,877	95%	118%
リチウムイオン	62,474	17,897	78%	90%	777,242	204,465	72%	78%
その他の二次	11,066	9,462	163%	59%	85,362	140,325	91%	95%
全電池合計 (輸 入)	157,549	18,104	83%	85%	1,400,132	208,861	98%	116%
一次電池計	148,683	2,320	83%	79%	1,305,221	21,409	97%	98%
マンガン	17,531	194	98%	91%	146,182	1,575	94%	93%
アルカリボタン	1,797	16	59%	55%	24,784	186	92%	92%
アルカリその他	111,632	1,451	82%	78%	949,301	12,015	99%	97%
酸化銀	133	4	66%	72%	1,515	54	75%	82%
リチウム	12,908	510	80%	70%	127,845	5,970	93%	99%
空気亜鉛	4,646	91	79%	97%	55,466	1,171	97%	119%
その他の一次	38	54	3167%	262%	127	438	46%	70%
二次電池計	8,866	15,784	89%	86%	94,911	187,451	100%	118%
鉛蓄電池	830	3,793	102%	98%	7,556	33,220	104%	98%
ニカド	69	106	84%	81%	720	1,548	109%	99%
ニッケル鉄	0	0	—	—	0	0	0%	0%
ニッケル水素	2,191	377	92%	82%	20,533	4,258	95%	96%
リチウムイオン	5,735	10,741	88%	84%	64,986	140,560	102%	132%
その他の二次	41	767	30%	75%	1,117	7,866	83%	68%